

令和4年度 調査業務指導者育成支援研修 実施結果について（お知らせ）

令和5年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館

当館で令和4年度に実施いたしました標記研修の実施結果について、以下のとおりお知らせいたします。

1. 研修概要

- (1) 開催日：令和5年3月16日～17日
- (2) 開催場所：オンライン（Teams）による開催
- (3) 受講証書交付人数：18名

2. アンケート結果

(1) 研修の総合評価

非常に有意義だった	10名	56%
有意義だった	8名	44%
あまり有意義でなかった	0名	0%
有意義でなかった	0名	0%

(2) 研修生からのコメント

- ・「他機関の違った文化にも触れられ、自機関への反映点を考えることができた。」（研修全体）
- ・「講義から得られるお話だけでなく、他の機関の方々と意見交換できたことについて気づきが多くあり、とても有意義でした。」（研修全体）
- ・「クラスタ検索のヒストグラム機能を用いた、他分野のF I 発見手法が役に立つと思われれます。また、組み合わせ動機付けの考え方も非常に役立つと思われれます。」（審査基準）
- ・「進捗性有りの場合の掘り下げが必要であったという点が、特に参考となった。」、「人によってまとめ方が違っていたので、気づきも多くあり、今後の仕事に役立てられそうです。」（進捗性判断のケーススタディ）
- ・「様々なケースの場合の事例が数多く記載されていた点は非常に参考となった。」（指導者に求められるマネジメント）
- ・「事例に近い内容で検討できた点がよかったと思う。また、進捗性判断は個人のスキルであるが、マネジメントは各機関ごとに状況が異なるため、他機関の人が混ざった状態で検討ができたことは、様々な考え方を聞いて有意義であった。」（調査業務実施者指導演習）